

第2次札幌市環境基本計画 全体構成（たたき台）

第2次札幌市環境基本計画の目的・位置づけ

目的と位置づけ

計画期間
2050年頃の札幌市の将来の姿を見据え、2030年までの施策の方向性を示す（2018年度～2030年度）

1-1. 社会的動向（背景）

国際的動き

国内の動き

1-2. 札幌市の現状とこれまでの取り組み

社会情勢の変化

札幌市の都市構造

気象と気候変動
札幌市の気温の変化と気象

温室効果ガス（二酸化炭素）排出量の推移

泊原子力発電所の稼働停止と東日本大震災後の省エネルギー対策

廃棄物

生物多様性への取り組み

環境への市民意識

健康で安心な生活環境の確保

札幌市の関連計画

札幌市戦略ビジョン

札幌市都市計画マスタープラン

札幌市みどりの基本計画

札幌市総合交通計画

札幌市エネルギー基本計画

検討部会（環境問題対応部会、環境保全対策を通じたまちづくり検討部会）からの意見

- 都市・交通
積雪寒冷地の世界の先進的なまちを目指す
- 人・市民
市民意識のレベルアップ
- 連携
廃棄物やエネルギーにおける連携・ネットワークによる取組など

2. 札幌市の環境の特徴と課題

- 札幌市の環境特性
- 課題（求められる事項）

3. 基本理念と将来像（目指す姿）

- 基本理念
市民生活、事業活動、市内外との関わり等、全ての活動において持続可能性をもった”まち”の形成
- 目指す姿
世界に貢献していく持続可能な都市
「環境首都・SAPPORO（仮）」

※市民ワークショップからの意見を反映

4. 環境首都 SAPPORO（仮）を実現するための4つの柱

- ①低炭素社会の実現
- ②循環型社会の実現
- ③環境共生社会の実現
- ④環境施策の横断的・総合的な取組の推進
→対策を通じた札幌市民のライフスタイルの構築

環境首都を目指す
コンパクトなまちづくり
エネルギーネットワーク・マネジメント・先進的エネルギーインフラ
再生可能エネルギーの導入
水とみどりのネットワーク
まちを取り囲むみどりの保全・活用
公共交通の利用促進・自動車利用の適正化 など

5. 分野別の施策の方向性

- ①低炭素社会の実現
 - 低炭素社会
 - エネルギー
 - モビリティ
- ②循環型社会の実現
 - 廃棄物
 - 熱利用
- ③環境共生社会の実現
 - 豊かな自然環境の保全回復と生物多様性
 - 大気・土壌・水質・水循環
- ④環境施策の横断的・総合的な取組の推進
 - 環境教育・人材育成
 - 環境活動の推進
 - プロモーション・情報発信
 - 環境産業・環境ビジネス
 - 周辺地域や道内連携

6. 環境首都 SAPPORO（仮）の実現に向けた先導プロジェクト（例）

7. 環境首都 SAPPORO（仮）の実現に向けた推進体制とロードマップ